

ケア & メンテナンスマニュアル
ハイブリッドストーン アベイラス アルシオール
【ハードタイプ・フレキシブルタイプ編】

株式会社 ドペル

■ はじめに

ハイブリッドストーン・アベイラス（以下「アベイラス」と称する）ハードタイプおよびフレキシブルタイプは天然石英石を耐候性に優れたMMA(メチルメタアクリレート)樹脂でバインドした高機能素材です。一般の石材、タイルと比べると意匠性はもとより、強度、硬度、耐摩耗性、耐水性、耐熱性、耐薬品性、耐汚染性等の各種性能面において極めて優れた建材ですが、正しいケアとメンテナンスがなされてはじめて、その優れた意匠や物性を長期に渡り維持させることができます。

また、誤った使い方をされた場合、製品表面の変色や若干の腐食を引き起こす場合もあります。本ケア&メンテナンスマニュアルに記載された事項を遵守し使用されますようお願い申し上げます。

■ ケア&メンテナンス

- ☐ 製品は常に清潔に保ち、上に荷物などを置き放しにしないでください。
- ☐ 事前にテストし、変色等の問題が起こらないことを確認したクリーナー(洗剤)を使用ください。
- ☐ 中性でアルミニウムにも適応可能なクリーナー(洗剤)を推奨します。
- ☐ アベイラスは表面硬度が高く傷が付きにくい素材ではありますが、表面を傷付けたり、すり減らすような洗浄方法は採らないでください。
- ☐ 製品の表面に成膜するようなコーティング保護材やワックスなどは塗らないでください。これらが励起の妨げとなり、所定の発光性能が発揮できなくなる恐れがあります。
- ☐ 外的応力や衝撃などにより破損した製品は直ちに交換してください。

<注意1>

アベイラスは一般的に市販されているほとんどの家庭用洗剤や漂白剤によって、表面が破壊されたり変色したりすることはありませんが、市販されている洗剤や専門クリーニング業者が使用する洗剤など全ての適性検査を実施してはおりません。洗剤を用いて洗浄される場合には、必ず部分的にテストを行い影響のないことをご確認の上、洗浄作業を行ってください。

変色の可能性がありますのでシンナー・トルエン等の有機溶剤もしくは溶剤入りの薬液等は、決して使用しないでください。

また、アルカリ系洗剤(業務用洗剤等で水酸化ナトリウム、珪酸ナトリウム系のもの)も使用しないでください。万一使用した場合には、水でよく洗い流し、完全に拭き取ってください。アルカリ成分が残っていると乾燥時にアルカリ成分が濃縮され、強アルカリとなることでアベイラスの表面が白化することがあります。(表面硬度や強度の低下はほとんどありませんが発光性能の低下を引き起こす可能性があります。)

<注意2>

製品上に物を置いたり貼り付けたりしないでください。物に含まれる成分により製品表面が変色する場合があります。

<注意3>

製品の表面に成膜するようなコーティング保護材やワックスなどは塗らないでください。これらが励起の妨げとなり、所定の発光性能が発揮できなくなる恐れがあります。

<注意4>

蓄光製品の場合、屋外や水で濡れる場所では上に物を置かないでください。接触狭小部(微細孔を含む)の水分が活性化し、製品表面が白化する場合があります。

■ クリーニング方法

- ☐ 磨き仕上げ製品におけるクリーニングは原則ウエスによる乾拭きまたは水拭きにて行ってください。
- ☐ 水拭きで落ちない汚れは洗剤を使用しクリーニングを行ってください。その際、上記注意事項を遵守してください。
- ☐ 汚れがきれいに落ちない場合の推奨クリーニング方法を次表に示します。

推奨クリーニング方法

汚れの種類	洗剤・薬液の種類	クリーニング方法
赤錆・セメントの汚れ	希塩酸	目地部分を十分に水湿してから、2～4%の希塩酸溶液で洗浄し、その後十分に水洗いしてください。汚れが落ちない場合には、濃度を高めて洗浄してください。
油性マーカーの汚れ	アルコール(メタノール、エタノール、イソプロピルアルコール)	ウエスに含ませてから拭き取ってください。
泥汚れ	洗濯用液体洗剤(中性)	洗濯用液体洗剤(界面活性剤率 50%以上)を 100 倍希釈したもので洗浄して下さい。デッキブラシやタワシ等で汚れが落ちない場合、ナイロンスポンジタワシ又は毛先の尖ったブラシでこすり洗いして下さい。汚れがひどい場合には、汚れの部分に洗剤を浸したウエスを置き、1 時間以上経過してからナイロンスポンジタワシでよくこすり洗いをして下さい。それでも汚れが落ちない場合には、高圧水による洗浄(高圧洗浄)を行って下さい。
かび	塩素系漂白剤(次亜塩素酸塩)	塩素系漂白剤で洗浄し、その後十分に水洗いして下さい。塩素系漂白剤の中には水酸化ナトリウムが配合されているもの(カビキラー等)がありますので、水酸化ナトリウム残りが無いよう入念に水洗いして下さい。
口紅、クレヨンなど油脂系・たんぱく質系の汚れ	界面活性剤系洗剤(中性または弱酸性)または弱酸性クレンザー	主に油脂系(食用油、皮脂、機械油、口紅、靴墨、クレヨン等)、たんぱく質系(醤油、牛乳、マヨネーズ等)、糖質系(ジュース、コーヒー等)の汚れには、界面活性剤系洗剤または弱酸性クレンザーを使用すると効果的です。

■ 追記

本ケア&メンテナンスマニュアルに関する問い合わせは、下記の連絡先までお願い致します。

株式会社ドベル
E-mail: contact@doppel.co.jp
TEL: 0439-29-7401